

# みなさんからの 陳情 はこうなりました

6月定例会で審査した陳情の採択結果を報告します。

## 採択とした陳情

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する陳情	米子市米原2丁目3番20号 鳥取県教職員組合西部支部 支部長 西田 浩文  鳥取県高等学校 教職員組合西部支部 支部長 深田 卓也	<b>(教育民生常任委員会)</b> 多忙な学校現場の解消には、教職員の定数改善が必須であり、教育環境の充実を財政的にも支援する必要がある。 採決の結果、全会一致で採択と決した。	採択
不登校・ひきこもり児童生徒の支援拡充をもとめる陳情	大山町上市170-1 いちご一会 親の会 代表 高見 裕美  大山町妻木473 NPO法人全国ことばを育む会大山支部みらい 会長 茨木 絵美	<b>(教育民生常任委員会)</b> 学校になじめない生徒の居場所として、選択肢に寺子屋以外にもフリースクールを認知し支援すべきと考える。 採決の結果、全会一致で採択と決した。	採択
地方財政の充実・強化を求める陳情	鳥取市南町505番地 自治労鳥取県本部 執行委員長 山口 一樹  大山町御来屋328番地 大山町職員労働組合 執行委員長 中井 晶義	<b>(総務常任委員会)</b> 地方自治体は、さまざまな課題に直面している。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で地方経済の低迷は顕著であり、地方財政の充実・強化は必要である。 採決の結果、全会一致で採択と決した。	採択

## 不採択とした陳情

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出を求める陳情	鳥取市西品治806 新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	<b>(教育民生常任委員会)</b> 夫婦のあり方の変化や国内世論、国際的なすう勢を考えれば、民法改正を推進すべきという意見もあった。 しかし、夫婦別姓や女性の再婚禁止期間の問題による弊害も懸念される。 採決の結果、採択1、不採択4で不採択と決した。	不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取市西品治806 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	<b>(総務常任委員会)</b> 最低賃金1500円をめざすことは理解できるという意見もあったが、全国一律の賃金設定は、地域によって物価が異なる現状においては結果として不公平になりかねず、また、全国一律とすることを国に対して要望することは地方自治の観点からして懸念である。 採決の結果、採択1、不採択3で、不採択と決した。	不採択

- ◇町行政に意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を議会に出すことができます。(請願には議員1人以上の紹介が必要ですが、陳情の場合は必要ありません)
- ◇請願権は国民の権利のひとつです。提出の方法など詳しくは議会事務局へお問い合わせください。